

所属・氏名（保健医療学部 医療技術学科 氏名：中原正子）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	（報告・発表） 末梢血 microRNA を用いたアルツハイマー型認知症早期検査法および発症予防法の検討	代表	2024 年 4 月 - 2027 年 3 月	科 研 費 基 盤 研 究 (C)	ストレスに応答して血管から発現する miR10b は血中エクソソームに存在するため、アルツハイマー病の新規評価法になり得ることを提案した。
2	（学術論文） 血管内皮細胞におけるストレス応答性 miR10b の機能解析	共著	2024 年 2 月	医療工学雑誌 2024 Feb. vol. 18 pp1-8	ストレス刺激による EC の機能変化の分子機序の一端として miR10b が関与していることから、miR10b を標的とした血管機能低下の防止・改善法の開発に繋がることを報告した。 <u>中原正子</u> 、中山寛尚
3	（報告・発表） アルツハイマー型認知症における新規検査法の開発	共著	2023 年 5 月	第 72 回日本医学検査学会	microRNA10b が血液脳関門の機能低下に関わる機序を解明した。脳は迅速検査が難しいと言われているが、血液検査で測定可能であることを提案した。 <u>中原正子</u> 、中山寛尚
4	（学術論文） Comparison of Fully and Partly Compression Socks for Prevention of Leg Swelling during the Working Daytime	共著	2023 年 2 月	Journal of Vascular Medicine & Surgery 2023 Feb. vol. 11(1) pp1-7	種々の着圧ソックスを用いて実圧やふくらはぎの周径・体積変化の測定、感性評価を行い、効果を多角的・客観的に判定した。 Kosuke Morinaga, Shigekazu Ishihara, Shun Tarumoto, <u>Masako Nakahara</u> , Toshio Tsuji
5	（報告・発表） アルツハイマー型認知症の新規検査法開発	共著	2022 年 10 月	JACLaS Award I 受賞、日本医療検査科学会	神経変性疾患において脳内 BDNF 発現量は低下する。その BDNF の発現を制御していると考えられる miR10b を用いた新規検査法を発表した。 石原爽大、中山寛尚、楠本智章、 <u>中原正子</u>
6	（学術論文） Inactivation of axon guidance molecule netrin-1 in human colorectal cancer by an epigenetic mechanism.	共著	2022 年 4 月	Biochem Biophys Res Commun. 2022 Jun. vol. 30 iss. 611 pp146-150	ヒト直腸癌ではエピジェネティックなメカニズムによって軸索誘導因子であるネトリン-1 が不活性化することを報告した。 Nakayama H, Ohnuki H, <u>Nakahara M</u> , Nishida-Fukuda H, Sakaue T, Fukuda S, Higashiyama S, Doi Y, Mitsuyoshi M, Okimoto T, Tosato G, Kusumoto C.

令和 6 年 3 月 27 日 現在